

## 圧入工法の普及活動①『圧入工法技術講習会・現場見学会』

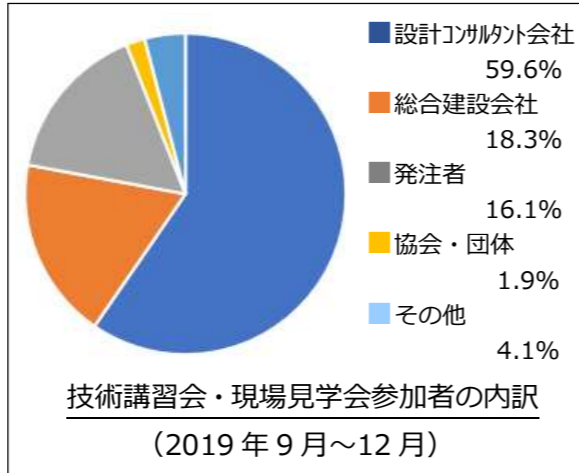
圧入工法技術講習会・現場見学会では、圧入工法の現場見学に加え、最新の技術解説を行うので、発注者、設計コンサルタント会社、総合建設会社が多く参加します。(円グラフ参照) 難易度が高いプロジェクトに対し、発注者や設計技術者に圧入工法を理解してもらうことで、さらなる採用率アップにつなげるべく、本年度も積極的に開催しています。

### 『圧入工法技術講習会・現場見学会』石巻会場

国土交通省 東北地方整備局 北上川下流河川事務所、(一社)建設コンサルタント協会東北支部、(一社)宮城県測量設計業協会、(一社)宮城県建設業協会の後援を受け、10月30日、ジャイロプレス工法の技術講習会と「旧北上川右岸門脇地区上流護岸工事」の現場見学会を開催しました。この工事は、旧北上川の復旧・復興を目的に、国土交通省 東北地方整備局 北上川下流河川事務所が計画・発注し、液状化による沈下や、すべり破壊の発生を抑制するために、鋼管杭による護岸工事が採用されました。被害の大きかった旧北上川下流右岸では護岸が崩壊し、民家への高潮等の被害が続いており、堤防の早期復旧が急務でした。当初パイプロを使った鋼矢板護岸で開始したのですが、想定外の障害物が散見され、ジャイロプレス工法しかないということで、同工法での施工に変更した結果、見事課題をクリアして順調に施工が進んでいます。震災直後から毎年継続して行われている8年越しの工事で、発注者から高い評価を得ています。圧入施工業者は、協会会員の(株)角藤です。当日は、建設コンサルタント会社20名、総合建設会社6名、鋼材商社1名の計27名が参加しました。実際施工中の現場を見ることは設計者の理解度アップにつながり、圧入工法の積極的な採用に貢献できるという実感と自信を得ました。

### 『圧入工法技術講習会・現場見学会』福岡小石原川会場

12月5日、硬質地盤クリア工法の技術講習会と現場見学会を開催しました。この工事は、国土交通省九州地方整備局筑後川河川事務所発注の「小石原川栄田地区外堤防補強工事」において、河川堤防補強工事の川表止水鋼矢板工(900ハット形鋼矢板)に硬質地盤クリア工法が採用されたもので、特に発注者の関心も高く、計80名の方が参加しました。(内訳:官公庁17名、協会団体1名、設計コンサルタント会社43名、総合建設会社19名) 圧入施工業者は協会会員の(株)新光組です。技術講習会・現場見学会ともに、参加者は総じて熱心で、意欲的な様子が印象的でしたが、発注者から工法の採用経緯について詳しく説明がある等、発注者の関心の高さと熱意を感じる講習会でした。設計コンサルタント会社からは、現場を見学できる良い機会を得られたと好評でした。当技術講習会・現場見学会の参加によって、圧入工法の理解が深まったことは、今後の設計への反映が期待できます。



▲技術講習会・現場見学会 石巻会場



▲技術講習会・現場見学会 福岡小石原川会場

## 圧入工法の普及活動②『建設技術展に出展』

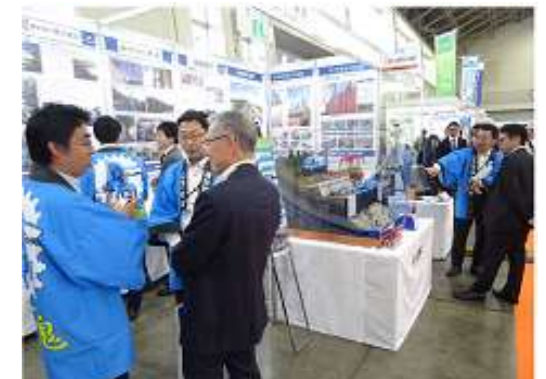
建設技術展は、民間企業や団体等による新技術・新工法等を展示紹介する場において、産・学・官の交流を行うことで、これまで培われてきた建設技術のより一層の高度化やより広範囲な技術開発の促進へとつなげ、新技術の各工事への積極的な活動を促すことを目的とするものです。

協賛いただいた会員各社とともに、圧入工法の特徴等について来場者へ説明し、また会員各社は、自社の実績力を広く発信しました。ここでは中部・近畿・九州の出展状況について紹介します。

### 建設技術フェア 2019 in 中部

10月16日、17日に名古屋市中心企業振興会館(吹上ホール・名古屋市)で開催。当技術フェアには243社・団体が出展し、14,885名が来場しました。参画した会員は、ジオテック(株)、(株)梶川建設、(株)角藤、(株)技研施工の4社。協会は2ブースを確保し、ジオラマや圧入機運転シュミレータなど視覚的な手法で圧入工法を紹介しました。会員企業は自社のバナーや実績集を用意。会員は背中に圧入機の写真および「圧入魂」とプリントされた法被を着て、精力的に来場者に声をかけ、圧入工法や自社の実績について丁寧に説明しました。

協会ブースには約250名もの方に来場いただき、圧入工法の普及に手ごたえを感じる出展となりました。



▲圧入魂のハッピを着て精力的に(名古屋市)

### 建設技術展 2019 近畿

10月23日、24日にマイドームおおさか(大阪市)で開催。188社・団体が出展し、14,238名が来場しました。土保産業(株)、(株)藤井組、(株)技研施工の3社が参画し、ジャイロプレス工法による3つの工事バリエーションを示したジオラマおよび工法バナー、模型を設置し、来場者への説明にあたりました。来場者からはGRBシステムや桁下空間でのジャイロプレス工法についての質問が多く、具体的に説明しました。協会ブースへは約100名が来場し、会員とともに、圧入工法と自社のPRを行いました。

来場者の約半数は、発注者・設計コンサルタント会社、総合建設会社のいずれかで、圧入工法をPRするのに効果的な場となりました。



▲熱のこもった説明に来場者も真剣(大阪市)

### 九州建設技術フォーラム 2019

10月8日、9日に福岡国際会議場(福岡市)で開催されました。117社・団体が出展し、2,918名が来場しました。協会ブースには約60名が来場し、協会は圧入工法、中でもジャイロプレス工法の優位性について詳しく解説しました。

来年度も企画しますので、ぜひご参画ください。



▲技術委員の説明に聞き入る来場者(福岡市)

栄えある第4回表彰 連載① ~現場部門賞(1件)、メンテナンス部門賞をご紹介~

中国支部が本格的に始動 ~11月には建設技術フォーラムにも出展~

★【現場部門賞】株式会社 角藤「東海北陸自動車道 中西高架橋工事」

この工事は、東海北陸自動車道 白鳥 IC から飛騨清見 IC 間の4車線化事業に伴い、既に開通している1期線に近接した2期線の高架橋に係る工事です。この現場は、反力杭の位置が高天端になってしまう、1期線の変位を抑えなければならない等の課題がありました。

そこで、反力杭にはプレス等を取付け、圧入時の水平抵抗や回転トルクに対する補強を実施して、無理のない高天端施工を行いました。

1期線の変位を抑えるための送水については、潤滑剤を水システムにより送水して圧入抵抗と送水量の低減を図りました。

当該現場の土質条件は貫入不能の玉石層であり、鋼管杭の圧入には苦戦を強いられましたが、1期線の変位を管理基準内の5mm以下で施工を完了することができました。

東海北陸自動車道の4車線化の実現で、慢性的な渋滞の解消をはじめ、観光の活性化や災害対策など多くの効果が期待されています。 ~次号にて、さらに第4回現場部門賞を紹介します~



▲中西高架橋工事 施工中の様子

★【メンテナンス部門賞】宮崎基礎建設 株式会社

我が社は、「現場に迷惑をかけない」という経営方針が社内に浸透しています。その実践として、まず機械ごとに担当のオペレーターを決め施工からメンテナンスまで一貫した保守管理体制をとっています。オペレーターは自分の軽トラに工具類を常備しており、日々の点検・手入れはもちろん軽微な補修等はすぐに処置します。機械の入庫時はトロッコ台車で簡単に格納できるようにしています。保有機械のメンテナンス情報は全てシステムに登録され、現場の工程に照らして検査時期等を一元管理しています。

当社が取り組んできたことに対し、今回このような評価をいただき大変光栄に思っております。いつもメンテナンスされた性能の良い圧入機で、品質の良い圧入施工が続けられるよう、今後は人材育成にも注力し努めてまいります。(宮崎基礎建設(株) 濱口 剛様・談)



▲圧入機はトロッコ台車で簡単に収納

★第5回 JPA 表彰 案件を募集中★

圧入技術表彰

現場部門賞

創意工夫された現場、品質良く完成させた現場、安全確保を実現させた等の圧入工事現場を表彰します。

メンテナンス部門賞

圧入施工を行う機械および道具類を大切に扱い、予防保全をはじめとするメンテナンスに力を入れており、現場および自社の能率向上ならびに安全の確保等を実践している会員企業を表彰します。

オペレーター部門賞

会員企業に所属する杭圧入引抜機のオペレーターのうち、永年にわたって顕著な業績を上げた技術者を表彰します。社内のモチベーションアップにもつながります。

映像表彰

写真部門賞

「防災・減災」「環境保全」「自然・文化との共生」「都市再生」「現場・人・機械」「完成時の美しさ」等のテーマ性があり、圧入工法が社会に貢献・活躍していることを象徴的に表現した写真および動画を表彰します。

動画部門賞

応募期間：2020年3月16日まで  
メンテナンス部門賞は2020年2月28日まで

本年3月、地域に密着した工法普及の体制として発足した「中国支部」の活動状況について紹介します。中国支部は、「幹事会」が活動の中核となっています。(支部長：(有)タケハラ工業・竹原専務、幹事：(株)ウエヤマ、(株)出雲技研、事務局：エムシー中国建機(株) 幹事会は JPA 本部、関西事務所も参加して具体的な企画を検討し、9月には中国支部会議で会員と意見交換を行いました。その結果、まずは建設技術フォーラムへ出展することが決定しました。

その「建設技術フォーラム in 広島」は、11月26日、27日に開催されました。フォーラムは産官学の12団体・76社が出展し、JPA 中国支部は圧入工事のジオラマやバナー等を用いてブース出展しました。来場者は2日間で約2,300名、このうち中国支部のブースには約80名の方が来場され、幹事会のメンバーおよび本部・関西事務所の技術委員が圧入工法を説明しました。来場者からは防災・減災技術として圧入工法への関心の高さがうかがわれました。

翌28日には、竹原支部長と一緒に中国地方整備局の各部署・広島県・関係機関の計14か所を訪問。中国支部の会員名簿を手渡し、支部開設のPRを行いました。

中国支部は現場見学会等についても検討しており、今後、計画的に当地域への普及活動を進めていきます。

▲建設技術フォーラム 2019in 広島



▲中国支部として初出展しました

Information

2020年前期 杭圧入引抜機特別教育開催予定一覧

- ①4月4日(土) 東京会場  
4月5日(日)
- ②4月18日(土) 大阪会場  
4月19日(日)
- ③5月16日(土) 高知会場  
5月17日(日)
- ④5月30日(土) 福岡会場  
5月31日(日)

案内文のウェブサイト掲載と募集開始は2月中旬予定です。

2020年度 JPA 会員総会

開催日：2020年6月10日(水)  
会場：グランドプリンスホテル 新高輪  
(昨年と同じ会場です)  
案内文の送付は4月末を予定しています。

協会 Web サイト [www.atsunyu.gr.jp](http://www.atsunyu.gr.jp)

【新会員のご紹介】

- 協賛会員 ・株式会社セイワサービス様  
宮城県遠田郡
- 特別会員 ・佐藤 明良様  
・藤本 貴也様  
パシフィックリアルティ株式会社  
特別顧問  
(2019年9月16日~12月入会、入会順・会員別)

【会員数の状況】(2019年12月25日現在)

- ・正会員 202社
- ・協賛会員 33社
- ・賛助会員 4社5団体
- ・特別会員 8名

2019年は協会設立40周年という節目の年となり、会員各位には多大なご支援とご協力を賜りました。この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。2020年度が良き年となりますよう、皆様のご健勝と各社の益々のご発展を心よりお祈りいたします。どうぞ良いお年をお迎え下さい。来年もよろしくお願い申し上げます。